

こんにちは 大和市議会議員

大波 修二 です

発行：2019年 3月号

住所：大和市西鶴間 5-22-6

連絡先：046-263-0578

Eメール：onami93@jcom.home.ne.jp

HP <http://onami-syuji.com/>

大和市の2019年度の予算 必要なところに使われているのか

2月15日に大和市の新年度の予算が提案され、3月議会で決定されます。

大和市の考え方
大和市は「歳入について、穏やかな景気回復が続くが、海外経済・金融資本の不確実性に留意すること、個人市民税が給与所得の増加で増額を計上し、国庫と県の支出金増加が



見込まれる。歳出については扶助費と公債費の増額、小学校の防音設備・増築事業が増加するという考え方は「市民税外でも治めることになる、施設利用料金

市民税外でも治めることになる、施設利用料金

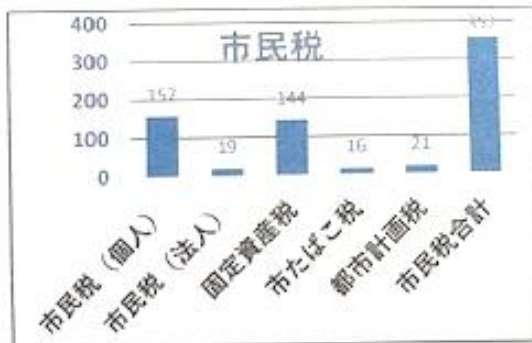
大和市の新施設の利用料金は高く、市民の負担の増加になっています。また、指定管理者制度など外部委託の推進により、非正規労働者の雇用増加などで低賃金労働者が拡大しています。

景気回復は実感できない

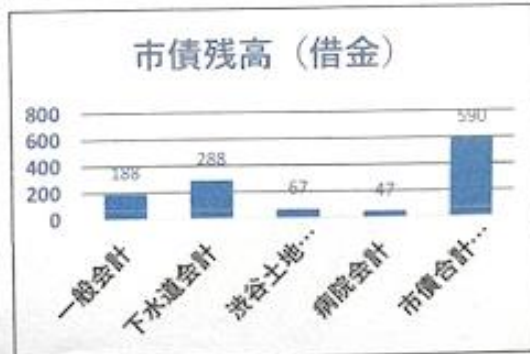
市は景気の回復が続くとしていますが、大多数の勤労市民は実感できないと感じ

グラフにすると法人税の少ないことがわかる

市民税	
単位 億円	
市民税(個人)	157
市民税(法人)	19
固定資産税	144
市たばこ税	16
都市計画税	21
市民税合計	357



市債残高(借金)	
単位 億円	
一般会計	188
下水道会計	288
波谷土地地区画整理	67
病院会計	47
市債合計(借金)	590



ています。大和市の人口は微増ですが引き続き出生率が高まるような建設的事業の促進が必要です。教育の無料化も必要です。

予算は市民が一番必要とする事業に多く

る事業を優先し、予算化をすることで、市民に添える新しい行政施策が生まれます。市民の声や実態を把握し執行することで、住んでよかったと思える大和市の街づくりができます。市政の動向に注視しましょう。

いのちが大事 暮らしが大切

市民の立場でともに考え 実行する



誰もが人間らしく暮らせる社会を

特別養護老人ホームの増設を

「老後は施設に入りたい」と考えている高齢者が、大勢おられます。現在、特別養護老人ホームへの入所希望者は500人を越えています。ホーム入所だけでなく、自立のできる、安心して暮らせる・住んでよかった大和を目指して、老後を楽しく過ごせるよう力を尽くしたい。



オスプレイはいらないと基地正門で抗議

市民が主人公の街づくり

放課後児童クラブの充実を

放課後児童クラブで過ごす時間は、学校より長く、年間1650時間です。帰宅後、家族がいない子どもたちが多数おられます。すべての児童の受け入れが継続されるよう、体制の充実に取り組んでいきたい。ここでの経験は重要で、単なる預け先ではなく、成長に寄与する学育につなげていきたい。



第五次厚木基地訴訟の団長あいさつ

平和な社会の実現

新しく選挙権を得た皆さんへ

今日まで勉強と部活、仕事へと、時にはいじめや挫折にあいながら、一生懸命生きてきたことと思います。今、日本には平和憲法があるからこそ、太平洋戦争後約70年間、日本は一度も戦争に加担していません。人を殺さず、自分も死なずということです。平和の社会で生きることをしっかり考えましょう。



街中で政治を身近なものにと訴える



